

キャラクター名
桃瀬 雄二

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	不良学生D	カヴァー	不良学生
	ウロボロス					
オプション			年齢	17	性別	男
覚醒	生誕	衝動	闘争	初期侵食率	42	%
出自	疎まれた子	経験	約束	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2		0			2	行動値	9
感覚	2		0			2	(非装備時)	9
精神	4	1	0			5	戦闘移動	14
社会	0		0	1		1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	5		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
犬牙	RC	4r+15		12		
狼牙(100%↑)	RC	9r+17		15		
猿腕		0				ダメージ30カット
猿腕・豪		0				ダメージ40カット

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
アイテム:喧嘩百段	
アイテム:トレーラーハウス	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
傍らに立つ影《ブラッドパイク》	P	N		
変異種《ウロボロス》	P	N		
街	P 誠意	N 疎外感		
金剛龍生[こんごう・りゅうせい]	P 憧憬	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
混沌の主	5	2	-	-	-	-		
効果: 原初の~達成値+Lv*2								
青:ハンティングスタイル	1	4	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 戦闘移動。離脱可能。								
灰:地を掴む獣	5	8	マイナー	至近	自身	自動	120↑	
効果: シーン中ダメージ-Lv*5								
パーフェクトイミテ	2	3	オート	至近	自身	自動		
効果: 《原初の●》一つEFLv+2								
影:ブラッドスパイク	4	4	Xジェネ	至近	範囲(選)	対決		
効果: 攻撃力Lv*3 3点HP消費								
C:ウロボロス	2	2	Xジェネ	-	-	-		
効果: C値-Lv(下限7)								
紫:孤独の魔眼	1	5	オート	視界	効果参照	自動		
効果: 自身含む範囲を単体化。対象を自身へ								
傍らの影法師	★							
効果: クロカゲの姿が犬や猿、鳥に変わる								
親衛隊	1							
効果: I:5r[Lv*10] なんだかんだ楽しい奴らだ								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

桃瀬 雄二

「喧嘩は最後まで立ってた奴が一番強え」

聖徳館高校に在学している高校2年生。男。喧嘩っ早く横暴であるが知能は下手すれば賢い小学生にも劣る。天然。幼いころからオーヴァードの力に目覚め、その特異性。そしてクロカゲ(※後述)を興味を持った両親にスラム街に捨てられてしまう。当初こそ自身の境遇を呪い、両親を恨んでいたが、そんな彼に街の住民達は手を差し伸べた。彼が立って生きていけるよう、手伝い頼むことで食料や金銭を貰い、人としての一般教養を学んできた。こうして彼は街に育てられ、今日までの日々を生きてきた。手伝いは何時しか返返しへと変わり、彼は自分から進んで街の困難を解決していくようになった。時には自分のような溢れ者へ手を指し伸ばし、いつしか彼の周りには少なくない人が集まるようになった。

……とはいえ、彼は基本的に馬鹿である。勢力を増やそうという気は一切無く、ただただ自分がしてもらったように相手にした。思うがままに過ごしてきたに過ぎない。「気がついたらなんか人増えてんあ、まあゲーム一緒に出来っからいいか」程度である。

また、ネーミングセンスが壊滅的であり、彼のコードネームである《血濡れ桃太郎》はそんな彼を快く思わない不良達をちぎっては投げ繰り返した際、返り血を浴びた彼を見た不良に付けられたものであり、気に入っている。